

やたや

フィルハーモニー管弦楽団

〈第3回 演奏会〉

指揮 平塚 太一

J.Strauss II: Künstlerleben, Walzer, Op.316

J.シュトラウス 2世: ワルツ「芸術家の生涯」作品 316

A.Berg: Violinkonzert "Dem Andenken eines Engels"

A.ベルク: ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」

ヴァイオリン 栗原 壱成

G.Mahler: Sinfonie, Nr.4

G.マーラー: 交響曲第4番

ソプラノ 中山美紀

2018年 6月 23日(土) 13:30 開演 (12:50 開場)

*13:00 からプレトークがございます。

ティアラこうとう 大ホール

江東区江東公会堂 〒135-0002 東京都江東区住吉 2-28-36

一般 3,000 円

学生 1,000 円 (全席自由)

購入/お問い合わせ yatataphil@gmail.com

やたた

フィルハーモニー管弦楽団

第3回演奏会

やたたフィル第3回演奏会では、世紀末～近代ウィーンを代表する作曲家、G.マーラーとA.ベルクの作品を取り上げます。激動の時代、波瀾万丈な人生を送った2人の作曲家の作品からは、不条理がもたらす郷愁、ベルクの弟子であるアドルノの言葉を借りれば、「おのが滅びへの都雅」とも言える微笑を感じずにはられません。

10代半ば～20代前半の音楽家の卵たちが、先人が残した偉大な作品を通し芸術家として伝えていかねばならないことについて考え、演奏いたします。

J.Strauss II: Künstlerleben, Walzer, Op.316

J.シュトラウス 2世: ワルツ「芸術家の生涯」作品 316

A.Berg: Violinkonzert "Dem Andenken eines Engels"

A.ベルク: ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」
ヴァイオリン 栗原 壱成

G.Mahler: Sinfonie, Nr.4

G.マーラー: 交響曲第4番
ソプラノ 中山美紀

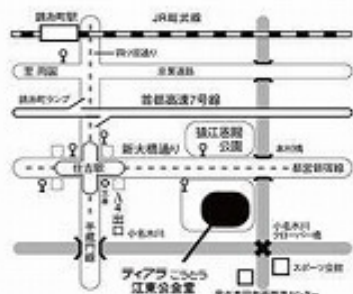
2018年 6月23日(土) 13:30 開演 (12:50開場)

*13:00からプレトークがございます。

ティアラこうとう 大ホール

江東区江東公会堂 〒135-0002 東京都江東区住吉2-28-36

都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅A4出口より徒歩4分



一般 3,000円

学生 1,000円 (全席自由)

購入/お問い合わせ yatataphil@gmail.com

〈協賛〉 JAZZ COOK Le Cottage Ltd. eight Virtue



やたたフィルハーモニー管弦楽団

2015年9月、東京藝術大学の学園祭である都祭において、指揮者 平塚太一を中心として東京藝術大学音楽学部1年生が集まり、前身となる〈C年有志オーケストラ〉を結成。ルーセルの「交響曲第3番」や、バルリオーズの「幻想交響曲」などを演奏し、好評を博す。

その後、〈やたたフィルハーモニー管弦楽団〉に名称を改め、2016年3月に第1回演奏会を成功させる。

また、2017年2月には台東区立大正小学校にて音楽鑑賞教室を、12月にはメンバーによる「やたたザリスタン」を結成し、室内楽によるコンサートを開催するなど、様々なコンサートを開催している。

なお、都祭の練習中、幻想交響曲の5楽章で指揮者が三通符を「やたたやたたやたた」と叫んだことが名前の由来。



平塚太一 (Cond.)

2歳よりピアノを、12歳よりクラリネットを、17歳より指揮を始める。

第1回関東ピアノコンクール最優秀賞、第10回ジュニアクラシック音楽コンクールピアノ部門第1位、第24回ジュニアクラシック音楽コンクール木管部門第1位。

東京都立総合芸術高等学校音楽科クラリネット専攻を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科4年次在学中。

ロームミュージックファンデーション音楽セミナー2013指揮コースを受講し、指揮者小澤征爾、淵田勇治の各氏に、オペラ伴奏役を三ツ石潤氏に師事。

2017年6月に東京音大で行われたバーヴォ・ヤルヴィ公開マスタークラスを受講。

また、東京藝大在学中にやたたフィルハーモニー管弦楽団を結成し、代表を務める。オーケストラ公演の他、オペラ、室内楽、音楽鑑賞教室等、様々な公演を企画、運営し、演奏、音楽、声楽の伴奏者としても活動している。



栗原壱成 (Vn.)

3歳よりヴァイオリンを始める。

7歳で録音小・中・高コンクールで1位ならびに最優秀賞受賞。その後日本クラシック音楽コンクール3位(最高位)、大阪国際コンクール2位、スペインで行われた国際ソロヴァイオリンコンクール2位(最高位)、オーストリアでのベスト・ヴェン

国際ヴァイオリンコンクール2位(最高位)、ナウエンフェ国際バイオリンコンクール1位及びグランプリを受賞(ポーランド)、岐阜国際バイオリンコンクール1位並びにグランプリ受賞。

ウィーンでカメラータ・オルフィカ、ルーマニアでブラショフフィルと共演。オーストリア、スペイン、イタリア、ポーランド、中国の音楽祭に出演。これまでに梅津南美子、現在清水高師に師事。

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、現在東京藝術大学4年次在学中。



中山美紀 (Sop.)

神奈川県出身。

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程独唱専攻修了。学部卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。声楽を今岡智子、大島洋子の各氏に師事。

第66回全日本学生音楽コンクール東京大会声楽部門大学の部第1位、全国大会第3位。第25回英楽堂日本歌曲コンクール入選、畑中良輔賞受賞。第24回ABC新人コンサート音楽賞受賞。第30回国際音楽コンクール(山梨)声楽部門第3位(最高位)。

第2回スペイン国際音楽コンクール声楽部門第1位。主に歌曲・宗教曲のソリストを活動の軸とし、定期的なリサイタルのほか、これまでヘンデル(メサイア)、J.S.バッハ(ロ短調ミサ曲)(マタイ受難曲)(マニフィカト)(クリスマス・オラトリオ)、モーツァルト(レクイエム)(ヴェスプレ)(戴冠ミサ曲)、ベートーヴェン(第九)、フォーレ(レクイエム)、ブラームス(ドイツ・レクイエム)、オルフ(カルミナ・ブрана)、ラuter(グローリア)等のソプラノソロを務める。またバッハ・コレギウム・ジャパン(鈴木雅明氏主宰)の声楽メンバーとして国内外の演奏会や録音に参加している。

2016年には文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」において選出され、新国立劇場オペラハウスにて鼓楽演奏会に出演。

神奈川県立音楽高等学校音楽科非常勤講師、横浜市市民交響楽協会会員、新都市合唱団員、所沢混声合唱団各ヴォイスリーダー。